

2023年7月20日

株式会社三菱UFJ銀行

「ディープテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」 を活用したシンジケートローンの契約締結

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{ほんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、今般、株式会社 Synspecive（代表取締役 CEO ^{あらい もとゆき}新井 元行、以下 Synspecive）との間で、「ディープテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」（以下 本制度）を利用したシンジケーション方式の実行可能期間付タームローン契約（以下 本契約）を締結いたしました。

本制度は、経済産業省に事業活動計画を認定されたディープテックベンチャー企業が、経済産業大臣に指定された金融機関から融資を受ける際に、独立行政法人中小企業基盤整備機構の革新的技術研究成果活用事業円滑化債務保証制度を利用できるものです。経済産業省は2021年8月より本制度を開始しており、本契約は本制度を活用し、5年という長期の融資契約を締結した取り組みとなります。本契約においては、最大25億円（借入元本の50%）の債務保証を受けております。

Synspecive は小型 SAR（合成開口レーダー、Synthetic Aperture Radar）衛星の開発・製造を行う、衛星データのソリューションプロバイダーです。SAR 衛星は天候や時間帯に左右されず、世界中を高精度で観察する事が可能であり、特に安全保障・国土強靱化・インフラ管理などに活用が期待される技術です。Synspecive は今後30機の衛星コンステレーションの構築を行い、世界のあらゆる地域を準リアルタイムで観測する事を目指しています。

【本ローンの概要】

契約締結日	2023年7月20日
アレンジャー/エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
コ・アレンジャー	株式会社みずほ銀行
組成金額	50億円(内、当行20億円)
期間	5年
貸付人 (五十音順)	株式会社商工組合中央金庫 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社りそな銀行
資金使途	衛星開発・製造・打上費用

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFJ）は「MUFJ Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて優先的に取り組む10の課題を特定しました。本ローンを通じた新産業育成支援は、10の課題における「産業育成・イノベーション支援」に位置付けています。MUFJ は引き続きグループ一体で成長企業領域の持続的な成長を支援し、産業の更なる発展・拡大に貢献して参ります。

以上